

稲刈りに挑戦！農業のすばらしさを学ぶ

- 福井県が策定した「第3次ふくい食育・地産地消推進計画」に基づき、課題である農林水産漁業体験の強化を目的として、子どもたちに、生命、食べ物大切さ、農業のすばらしさを感じてもらうための農業体験事業を実施。
- 地域の生産者等の指導のもと、小学生が農作業等を体験することで、地域の農産物や伝統料理の価値を考え直すよい契機となるほか、家庭での会話したりすること等を通じて保護者への波及効果も期待できる。

福井県



【取組の内容】

- 農作業体験は福井県農業協同組合中央会が事務局となり、農協、生産者、小学校等と連携し、県下生産者の水田において小学生を対象に実施した。
- 今年度は新型コロナウイルス感染予防のため田植え体験はできなかったが、稲刈りについては、3密に気をつけながら体験を実施できた。

対象農産物：水稻

取組内容：収穫体験

参加者：17小学校 約786名



稲刈りの様子



生産者の方から説明を受けている様子

【取組の成果】

- 農業体験後、児童に実施したアンケート結果(計682名)

問 あなたは、お家で食品を買う場合、日本や福井県で採れたものを欲しいと思いますか？

体験で欲しい思いが強くなった	602名
欲しい思いは変わらない	74名
体験で欲しい思いが弱くなった	1名
採れたものは欲しくない	0名
わからない	5名

～農業体験に対する成果・児童の反応(抜粋)～

- 稲の持ち方や鎌の使い方、稲の束ね方などを教わりました。田んぼに入って、力強く稲を刈り取った瞬間は今も記憶に残っています。
- 子ども達は昔ながらの収穫作業を体験し、育てる楽しさと大変さを改めて感じていました。